

区民の声で区政を動かす
9人の議員団 衆議院なら
100人に匹敵



低料金の多床室つき 都有地を活用した

特養、認可保育園を実現

「利用料が高くて入れない」の声に

北区で特養ホームの入居を希望する待機者は900人を超えています。北区は、政府の方針にそってユニット型(個室)の特養ホーム建設をすすめてきましたが、「せっかく順番がきたのに、個室では料金が高くて入れない。残念だけど、あきらめざるを得ない」との声が寄せられました。そこで日本共産党北区議員団は、料金の安い多床室(4人部屋)の建設も認めるよう東京都に繰り返し要請。2013年に開設にこぎつけた新町光陽苑(田端新町2丁目)では、ついに多床室24床を認めさせることができました。多床室を含む新型特養ホームの建設は、都内で初となりました。



多床室が入った新町光陽苑

さらに2年後に開設が予定されている浮間と赤羽北の2カ所、あわせて224床の特養ホームにも多床室が3割程度入ることになりました。利用者からは「私の年金でも入れる特養ができてうれしい」と喜ばれています。

都議団と連携、用地を提案

保育園は23区トップの整備率を誇りますが、待機児解消にはまだ足りません。日本共産党は、都有地を活用した保育園建設を求めてきました。2013年9月の都議会では、そねはじめ都議が具体的に北区内の用地を示して活用を提案。党都議団とも連携した論戦で、田端駅前旧都営住宅跡地と旧赤羽警察跡地に来春、都有地を活用した2園の建設が実現することになりました。



都議会で都有地の活用を求め、そねはじめ都議

日本共産党

「制度外ホーム」で高齢者虐待 突然の特養建設計画撤回

まだ足りない特養ホーム

区内の無届け「制度外ホーム」で「拘束介護」による高齢者虐待が発覚。豊島6丁目では221床の特養建設計画が「介護報酬の削減」などを理由に、突然撤回されてしまいました。



虐待問題を報じる各紙記事

消費税率を10%に引き上げながら社会保障費を大幅に削減する「社会保障・税一体改革」を強行。さらに「施設から在宅へ」と誘導して、高齢者の行き場を奪ってきた自民、公明、民主の責任は重大です。

まだまだ足りない特養ホーム。日本共産党は、引き続き施設整備に全力でとりくみます。

- 高すぎる国保料・介護保険料の値上げストップ
- 特養と保育園のさらなる増設で、2つの「待機者・児ゼロ」
- 子育てファミリー世帯・若年層・ひとり親家庭に家賃補助
- 滝野川・王子本町に特養ホームを ● コミュニティバスの運行を滝野川にも

高齢者も子どもも
安心して暮らせる
北区に



日本共産党 区議会議員

やまさき 直人

八巻 なおと

【プロフィール】●68歳 ●早稲田大学卒、区議4期 ●現在、区議団幹事長、企画総務委員、交通環境対策特別委員、馬場自治会副会長 ●家族は、母、妻、1男2女 ●趣味は、温泉旅行

私は16年間、「皆さんが安心して暮らせる北区をともに」と活動してきました。20年以上前から続けている都営住宅の入居相談会などで、貧困と格差の拡大を目の当たりにしてきました。区民の暮らしが大変な今こそ、身近な相談相手としてお役に立つよう頑張ります。

区議会
議員選挙
4月19日告示
26日投票

日本共産党の躍進で区民の暮らしを守る力を大きく

自民・公明・民主などの「オール与党」区政

区民に負担を押しつけながら **465** 億円の積立金

基金の活用で区民の暮らし応援の緊急提案

自民・公明・民主などの「オール与党」区政は、「財政が厳しい」「このままでは基金が枯渇し、区政運営が大変になる」といって区民サービスを削減。税金や保険料の徴収強化、公共施設の縮減を進めながら465億円もの基金を積み立てています(グラフ参照)。日本共産党は北区新年度予算案に対し、積み上げた基金のうち約30億円を取り崩して、暮らし応援に活用するよう提案しています。

区民にはがまんを強いながら…

敬老祝い金減額
新年度から最高齢を除く101歳以上の祝金を削減

滞納金を強制徴収
税金滞納を差し押さえて住民税・国保料等を徴収

児童館4割削減
乳幼児・中高生向けに特化し、約7年かけて跡継ぎ

北区の積立金は今年度末、過去最高の465億円に



日本共産党の 予算組み替え案

- 年金削減、国保料・介護保険料値上げの負担をやわらげる「暮らし応援手当」の創設
- 特養ホームと認可保育園のさらなる増設
- 町会・自治会の高齢者見守り活動助成の拡充
- 若者の正規雇用就労支援を区の事業として継続
- 65歳以上の障がい者の介護保険利用料負担軽減
- 新中学生の入学支度金(就学援助)前倒し支給
- 第2子・第3子の保育料・育成料は無料に

まちづくりに住民参加の原則を

まちづくりの一層の推進を掲げる北区ですが、十条では37階146坪もの超高層マンションを中心とする西口再開発に多くの住民から疑問の声が寄せられ、立体交差化事業には「なぜ多くの住民を立ち退かせる高架方式なのか」「従来の合意通り地下化で進めるべきでは」との意見が相次いでいます。

まちづくりの主役は地域住民です。一方的な計画の押しつけをやめ、住民の参加と合意を原則としたまちづくりに切り換えます。

住民不在の特定整備路線 認可取り消し、撤回を

区内3路線4カ所で計画されている特定整備路線。防災に役立たないばかりか、多くの住民を立ち退かせ、コミュニティや文化遺産、自然環境を壊すとして、地元住民から大きな反対運動が起きています。



赤羽西86号線に反対する住民の会発足総会

都が根拠とする1946年の都市計画決定は、原図も残されておらず内閣の認可もなく無効との疑いも。

住民不在の計画はただちに事業認可を取り消し、撤回すべきです。

北区から安倍政権の暴走政治に「ノー」を

消費税10%増税、社会保障の切り捨て、原発再稼働、「戦争する国」づくりと憲法改悪など、国民の願いに反して暴走政治を続ける安倍自公政権。ところが、花川区長も区議会の自民・公明も、国のいいなりです。日本共産党は暴走政治と正面から対決し、区民の声が生きる区政をめざします。

区民から提出された陳情	共産	自民	公明	民主あすか 区民クラブ
消費税率10%への引き上げに反対する陳情	○	×	×	×
年金2.5%削減の実施中止を求める陳情	○	×	×	×
原発再稼働反対・原発ゼロ政策を求める陳情	○	×	×	△
特定秘密保護法の廃止・撤回を求める陳情	○	×	×	△

※区議会交渉会派の所管委員会での態度表明 ○:採択 △:趣旨採択 ×:不採択

暮らし・福祉を守るため、「戦争する国」づくりを許さないため、9人の日本共産党議員団へ、私も全力でがんばります。

衆議院議員 **池内さおり**



区議会議員 宇都宮 章 さがらとしこ ながいともの の山 けん 福島 宏紀 本田 正則 やまき 直人 山崎 たい子 野口 まさと 区議予定候補



はそねめ 都議会議員 北区議員団とともに頑張ります